

保存版

じしん つなみとうはっせいじ たいおう 地震・津波等発生時の対応について（お知らせ）

三豊市立仁尾小学校

じしん つなみとうはっせいじ たいおう
地震・津波等発生時の対応については、せいめい あんぜんかくほ だいいち かんが つぎ
生命の安全確保を第一に考え、次のようにさせていただきます。
きんきゆうじ こんらん
緊急時に混乱しないために、ご理解・ご協力をお願いします。

しんど じゃくいじょう じしんはっせいじ つなみけいほう はつれい ぼあい 【震度5弱以上の地震発生時や、津波警報が発令された場合】

【登校前】

れんらくふのう じようきようか つぎ たいおう おねがひ
連絡不能の状況下でも次の対応をお願いします。

- ① せいめい あんぜんかくほ さいゆうせん
生命の安全確保を最優先し、しんど 5 弱以上の地震発生時や津波警報が発令された場合は、自動的に自宅待機とします。
- ② じたくたいき かいじよ がっこう あるいは し から、メール配信サービスやぼうさいぎょうせいむせんとう つう
自宅待機の解除は、学校あるいは市から、メール配信サービスや防災行政無線等を通じて連絡します。
- ③ じたくたいきかいじよご とうこう ぼあい かのう かぎ ようしょ ほんこうしょくいん せいと あんぜんかくほ あ
自宅待機解除後に登校する場合は、可能な限り、要所で本校職員が生徒の安全確保に当たります。

【登下校時】

とうげこうじ じしん あ ぼあい ちか あんぜん ぼしょ ひなん
登下校時に地震に遭った場合は、近くの安全な場所へ避難してください。

- ① ぶろっくべい じどうはんばいき はなれ とうぶ ほご みを ふせましよう。
ブロック塀や自動販売機から離れ、頭部を保護して身を伏せましょう。
- ② かいがんぞ どしゃくず いけ けっかい おそ ふきん はな
海岸沿いや土砂崩れ、ため池の決壊の恐れがある付近からは離れましょう。
- ③ じしん おき がっこう じたく してい ひなんぼしよう なか たか ところ ひなん
地震が収まったら、学校や自宅・指定避難場所等の中で、できるだけ高い所へ避難しましょう。

【学校にいる場合】

- 1 じしん さい には、まず いちじひなん あと あんぜんかくほ のち うんどうじょう ひなん
地震の際には、まず一次避難の後、安全確保をした後に、運動場等に避難することがあります。
また、津波警報が発令された場合は、こうしゃ3 かい ひなん
校舎3階に避難することもあります。
 - ② しんど じゃくいじょう じしん おおきなよしん ひんぱつ ぼあい ひなんぼしょ
震度5弱以上の地震や大きな余震が頻発する場合には、避難場所である本校運動場・体育館
等で待機させ、ほごしや ひきわたし者（保護者に代わる方）のおむかえを待ち、かくにん じどう
引き渡しをします。
- ※ げこう させる ぼあい つうがくろ における かんすい やまはだ くず かおく とうかい けいけん
下校させる場合は、通学路における冠水や、山肌が崩れたり家屋の倒壊があつたりして危険な
場所がないか、かくにん あんぜん かくにん がっこう たいき さい めーる
確認をします。安全が確認されるまでは、学校待機とします。その際は、メール
はいしんきーびす ぼうさいぎょうせいむせんとう つう れんらく
配信サービスや防災行政無線等を通じて連絡します。

※ じしん つなみ とき むか には、できるだけ徒歩か自転車をお願いします。くるま りよう ぼあい
地震や津波の時のお迎えは、できるだけ徒歩か自転車をお願いします。車を利用される場合は、

しゅうへん どうろこんぎつ さ うんどうじょう にしもん ようちえんがわ はい くだ
周辺の道路混雑を避けるため、運動場へ西門（幼稚園側）からお入り下さい。